

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土) 19時00~21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(:司会、 :記録者)		

(A)・(「予測交通量」波田 - 梓川間より)確かに赤信号1分間に15台の車が停車する計算になるデータに信憑性がないのでは？

・(この一連の話し合いは)「税金を払う人が意見を言う」「自分たちの地域の仕事を自分達で決める。」という所まで高めてくる運動だ。「子供未来センター」をはじめとした公共事業も再検討して内容が変わるように、この道路も税金が正しく使われるのか考える。

道路以外にも交通手段はある。鉄道(大糸線) バスなど交通機関そのものをどうしていくか。

・日本は今まで、効率(時間の短縮)を優先させてきたために666兆円という膨大な借金を負っている。

県営松本飛行場は、採算が取れず路線の撤退が続いている。

資料の綴りの中の「地域の持つ課題(3)」松本空港貨物取扱量は、このグラフ以降下降している筈。

姫川港はどうだろうか？

現在の暮らしでは、生活の中で大量のゴミがでる。町の予算の1割は、ゴミ処理費用。

このまま車を走らせ続けて良いのか。

・大北地域の方等、穂高町以外の方とも意見を交したい。

道路ができて、時間が短縮されるのは良いが、その代価が大きすぎるのでは？

(B)・道路は無くてもよい。

・データの「将来の交通量の予測(松本系魚川連絡道路の将来交通量)」で、波田 - 梓川間の20,900(台/日)は、4秒に1台車が通る計算で、このデータが信頼できるとは思えない。

(高規格道路が)どの時期にどういう必要性があった話なのか。

信頼性の高い客観的なデータが必要。

・そもそも、誰がこの道路を作りたいといったのか。自分は商工会の者だが、トップは作ろうと言ったかもしれないが、下の者は知らないのが事実。

・費用を払うのは、次の世代、現在一人あたり600万~700万の借金がある。

資源の枯渇などの問題が出てくる次の世代に負担を上乗せすることになる。世代間倫理を考えることは重要だ。

当然CO₂の削減も考えなければならない。

・高規格道路に対する町議会の態度はおかしい。議員は賛成ばかり、住民の意思は考えていない。

(C)・安曇野の美しさ、また、便利さに惹かれて7年前に来た。

・穂高町のビジョンは、「人と自然にやさしく・個性ある町づくり・等」とうたわれている。

・大町以北にはさらに何らかの道路が必要と思われる。

・「広域的見地からして、町は賛成すべき」や「反対はエゴ」という言葉を聞くことがあるが、“周りが要望しているから” “迷惑をかけないように” 賛成という考え方は、主体性が無くおかしい。

大町 - 松本間には生活道路が充分にあり、さらに整備していけば既存の道で充分「交流」に対応し得る。

主要観光地だけにメリットがあるようだが、中間点は？

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		
<p>・今後の観光は、「ゆとりのある観光」(移動間も楽しむ)であろう。観光地だけを急いで回る従来のような形ではない。 穂高町内や、アルプスあづみの公園にも自転車を活用できるよう、自転車道などを整備すれば、地元にお金が落ちるだろう。</p> <p>・渋滞の緩和という問題については、「重柳」等は立体交差にする。インターはゲートを増やす、都市の入口の渋滞は他の公共機関の利用を勧めるのが良いと思う。</p> <p>(D)・県が(高規格道路建設を)投げちゃったことが一番問題。司会進行に方向性を持たせるのは難しく、あくまでもそれぞれの意見を言い、それがこれからの指針の1つになるにしか過ぎないだろう。</p> <p>・賛成、反対者の町内での比率がそろって話し合えばいいが、前は賛成は自分一人だった。</p> <p>・県が今まで、この道路建設を進めてきたことへの責任感はないのか？ 道路作りのプロとして、一旦止めるなら頭を下げるべきで、県側の姿勢が曖昧だ。はっきりしてほしい。</p> <p>・高規格道路を作るからといって、税金が増える訳ではない。それは考えずに道路の是非を考えるべき。 その予算を辞退して何を作ってもらうのか。</p> <p>・自転車専用道路と生活道路を別にして住みやすくしてほしい。 自分たちの意見が、県に上がって聞いてもらえるとは思えない。</p> <p>・(ルートは)生活し易さから考えて、国道147号の範疇で作ってほしい。ルートに対する明確なビジョンは今はない。</p> <p>(E)・資料をいきなり見て論じるより、方向性を決めてから話し合おう。 地域高規格道路、生活道路を含めたどのような道路が望まれるかを考えたらどうか。</p> <p>(F)・やみくもに反対ではない。必要があったから高速道路もできたし、車にも乗っている。 この会では、難しい話になってしまうと話もまとまらない。冷静に個々が「この道路が要るのか要らないのか」「その理由は？」ということを描くのが良いのでは？</p> <p>(G)・前回書記をしたが、(この会の)方向性が見えない。県側は、それをどうするのか示さない。 そのまま11月に決定することだけが決まっている。</p> <p>・高規格道路には反対。もし、必要であっても様々な事業がある中で、今の県の財政状態でするのか。</p> <p>(H)・Gさんの意見に賛成。加えて、以北の方と協議したい。</p> <p>・日本は美しい国、なのにコンクリートが多過ぎる。しばしば訪れるフランスでは、400年先を見越して作られた今でも使い易い道がある。 日本は道路工事が多すぎるし、安心できる道が少ない。 穂高町は、わさび田、田園風景が美しいが大きな災害時には、コンクリートだけが残るのではないか不安。 私は、心豊かに暮らしたい。この機会を利用して、ずっと先の将来を考えたい。</p> <p>(I)・計画が立てられた頃は、公共事業がどんどん進んでいた頃だが、今は昔の様には公共事業が全てかなえられない時代。将来どのようにしたいかを考えるべき。 また、今までと違って県民の意志が反映されるようになってきている。</p>			

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土)	19時00～21時00
市町村名	穂高町	グループ名 3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)	
<p>・道路建設について住民に知らせる手順は無いのか。</p> <p>・町の議員の方に建設賛成の理由を説明してもらいたい。</p> <p>・小谷村近辺のフォッサマグナ、地滑り地帯などの総合的な地質調査資料を見せてほしい。</p> <p>(J) 県に質問</p> <p>1) 資料「将来の交通量の予測(地域道路網と松本系魚川連絡道路との比較)」の断面と断面の断面計は、倍近く違っている。この差は何か。</p> <p>2) 調査区間が堀金・大町間に設定された理由。</p> <p>3) どの資料にも起点になる地区の道路整備効果しかなく、穂高町の様な中間点の予測が無い。中間点にとっては、観光客が通過していき、宿泊や観光を含めた商業が廃れるのでは？</p> <p>県からの解答をうけて</p> <p>断面間でこれ程の車が下りる予想は、どう考えてもおかしい。</p> <p>(K)・古いデータでなく、新しいデータが必要なのでは？そのデータ如何で作るか否かを決めたらどうか。</p> <p>(L)・堀金村のアルプスあづみの公園に年間200万人来ないだろう。</p> <p>(M)・建設は反対。理由は、他の反対の方と重複する部分が多いので違うところだけ言いたい。</p> <p>・穂高町は、水が美しい為にわさびが作られ、おいしい米ができ、それが美しい田園風景を生んでいる。</p> <p>とても、水の恩恵を受けている町。その豊かな伏流水を止めてしまっていないのか。</p> <p>・私は実際に阪神大震災を経験したが、大きな道路が非常時には使えなくなることは明白。</p> <p>(N)・賛成、反対の比率は、このグループだけに特異なものではない。市民タイムスの投書等でも圧倒的に反対が多い。</p> <p>県は、生活者の意見を重視すべき。</p> <p>・広域的道路のネットワークのあり方を考えていく方向はどうか。</p> <p>あづみの山麓を通すルートを設定すると、どうしても感情的になる。そこを通してまで作る必要があるか。</p> <p>その他のルートを考えたいが、賛成の方はどのようにお考えか。</p> <p>メンバーほぼ全員</p> <p>・町長に次の会議に出席して頂きたい。町長が出られない場合は、助役などそれに変わることでできる人で構わない。</p> <p>・他地区の方とも話し合いを持ちたい。</p> <p>次回の会合は、11月1日役場大会議室(2F)で行う。</p> <p>(O)・書記をやったため、前回のGさん同様、発言するのは難しかった。</p> <p>県でその役をするのが当然と考えます。</p> <p>また、この「意見交換会要旨」の用紙ですが、会議中でも度々意見が交されたように、賛否や結論の出る会合では無い為、話し合う中でそれぞれの考えが展開されていく。</p> <p>このような個人の意見をバラバラにした形でなく、議事録のような記録の方が正確に個々の意見を残せると思います。ので、別紙に議事録を添付します。</p>		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土)	19時00～21時00
市町村名	穂高町	グループ名 3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)	
<p>(A) これまでの間、考えたことを話してください。</p> <p>(B) 道路は無くてもよい。 データの「将来の交通量の予測(松本系魚川連絡道路の将来交通量)」で、波田・梓川間の20900(台/日)は、4秒に1台車が通るという計算で、このデータが信頼できると思えない。 (高規格道路が)どの時期にどういう必要性があった話かわからない。 信頼性の高い客観的なデータが必要。</p> <p>(A) 確かに赤信号1分間に15台の車が停車する計算になる。データに信憑性が無いのでは？</p> <p>(C) 既存の道路が閑散としてしまうのだろうか。これだけ(交通量が)増えるか、わからない。</p> <p>(E) 資料をいきなり見て論じるよりも、方向性を決めてから話し合おう。 地域高規格道路、生活道路を含めたどのような道路が望まれるかを考えたらどうか。</p> <p>(A) 賛否を決めていく会合のあり方ではないと思う。 まず、結論有りきの方法ではなく、白紙で取り組むということなので、それをふまえた話し合いを。 将来の交通量をどう予想するかは難しい。</p> <p>(D) 県が(高規格道路建設を)投げちゃったことが一番問題。司会進行に方向性を持たせるのは難しく、あくまでもそれぞれの意見を言い、それがこれからの指針の1つになるにしか過ぎないだろう。 賛成・反対者の町内での比率がそろって話し合えばいいが、前は、賛成は自分一人だった。こういう意見があったという結果を持っていくしかないのでは？</p> <p>(F) やみくもに反対ではない。必要があったから、高速道路もできたし、車にも乗っている。 この会では、難しい話になってしまうと、話もまとまらない。 冷静に、個々が「この道路が要るのか要らないのか」、「その理由は？」ということを描くのが良いのでは無いか。</p> <p>(G) 前回書記をしたが、(この会の)方向性が見えない。県側は、それをどうするのか、示さない。そのまま、11月に決定することだけが決まっている。 高規格道路には、反対。もし、必要であっても、さまざまな事業がある中で、今の県の財政状態で、できるのか。</p> <p>(H) Gさんの意見に賛成。加えてこのような会議をする根拠、意見がどう県側で取り上げられるのか、どうして11月に終わるのか、以北の方と、協議したい。県側に具体的なことを聞きたい。</p> <p>県 グループ分けについては、15～20人のグループなら、素直な意見が出やすいと判断した。 11月には、報告会をする予定(そこで、終わることではない)。 その後については、各グループで、また、意見を出してもらおう。他地区との話合いの調整は、希望があればする。 住民の生の声を聞くのが主旨。その他、工法、候補路線があれば、参考にする。</p> <p>(D) 県が今まで道路建設を進めてきたことへの責任感は無いか？</p> <p>県 今は、今までのことを一時ストップさせて、皆の意見を聞いて、それから、決め直す。</p>		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- (D) 道路作りのプロとして、一旦止めるなら、頭を下げるべきで、県側の姿勢が曖昧だ。はっきりしてほしい。
- 県 そのような意見も、出してもらってかまわない。
- (B) そもそも、誰がこの道路を作りたいといったのか、議員や、商工会長等の間の話だろうが、自分は、商工会のものだが、トップは作ろうといったかもしれないが、下の者は、知らないのが事実。
- (A) (この一連の会合は、)「税金を払う人が意見を言う。」「自分たちの地域の仕事を、自分たちで決める。」という所まで、高めてくる運動だ、と考えている。これは、田中知事が言う、「県民が考える」ということだ。
 子供未来センターをはじめとした公共事業も、再検討して内容が変わるように、この道路も税金が正しく使われるのか考える。
 道路以外にも交通手段はある。鉄道(大系線) バスなど、交通機関そのものをどうしていくか。
 木曽伊那道路は、工事が現在ストップしている。原因は、軟弱地盤のためだが、地質調査をしてもこのような事がある。
- (I) 計画が立てられた頃は、公共事業がどんどん進んでいた頃だが、今は、昔のように公共事業が全てかなえられない時代。将来どのようにしたいかを考えるべき。また、今までと違って、県民の意志が反映されるようにもなっている。
- (B) 費用を払うのは、次の世代。現在一人あたり、600万～700万の借金がある。
 資源の枯渇などの問題が出てくる次の世代に、負担を上乗せすることになる。世代間倫理を考えることは重要だ。当然、CO₂の削減も考えなければならない。
- (J) 県に質問
 1) 資料「将来の交通量の予測(地域道路網と松本系魚川連絡道路との比較)」の、断面と、断面の、断面計は、倍近く違っている。この差は何か。
 2) 調査区間が堀金 - 大町間に設定された理由。
 3) どの資料にも、起点になる地区の道路整備効果しがなく、穂高町のような中間点の予測が無い。中間点にとっては、観光客が通過していき、宿泊や、観光を含めた、商業が廃れるのでは？
- 県
 1) 断面間で、車が下りる予測になっている。
 2) その区間が一番交通量が多いため。(交通量の多い地点を調査するのが従来からのやり方)
 3) 中間点のことは、加味されていない(従来どおり)
 穂高町の観光客数は、H12年で、200万人を超えている。
- (J) 断面間でこれほどの車が下りる予想はどう考えてもおかしい。
- (I) 道路建設について住民に知らせる手順は無いのか。
- (B) 高規格道路に対する町議会の態度はおかしい。
 議員は賛成ばかり、住民の意思は考えていない。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土) 19時00～21時00		
市町村名	穂高町	グループ名	3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- (K) 古いデータでなく、新しいデータが必要なのは？そのデータ如何で作るか否かを決めたら、
県 住民から(データを)作る要請があれば作る。
- (A) 日本は今まで、効率(時間の短縮)を優先させてきたために、666兆円という膨大な借金を負っている。
県営松本飛行場は、採算が取れず路線の撤退が続いている。
資料の綴りの中の「地域の持つ課題(3)」、松本空港貨物取扱量は、このグラフ以降、着実に下降している筈。
姫川港はどうだろうか？
現在の暮らしでは、生活の中で大量のゴミが出る。町の予算の1割は、ゴミ処理費用。
このまま、車を走らせつづけて良いのか。
- (K) この道路が計画されたのはいつ？
(A) 昭和46年。
(K) この当時の穂高町の道路の様子は？
(L) 農道はできていたが、オリンピック道路は無い。
堀金村のアルプスあづみの公園に年間200万人来ないだろう。
- (D) 高規格道路を作るからといって、税金が増えるわけではない。それは考えずに道路の是非を考えるべき。
その予算を辞退して、何を作ってもらうのか。
自動車専用道路と生活道路を別にして、住み易くしてほしい。
自分たちの意見が県に上がって聞いてもらえるとは思えない。
- (H) 日本は美しい国。なのに、コンクリートが多すぎる。
しばしば訪れるフランスでは、400年先を見越して作られた今でも使いやすい道がある。
日本は、道路工事が多すぎる。安心できる道が少ない。
穂高町はわさび田、田園が美しいが、大きな災害時には、コンクリートだけが残るのではないかと不安。
私は、心豊かに暮らしたい。この機会を利用して、ずっと先の将来を考えたい。
- (C) 安曇野の美しさ、また、便利さに惹かれて7年前に来た。
穂高町のビジョンは「人と自然にやさしく・・・個性ある町づくり・・・」とうたわれている。
大町以北にはさらに何らかの道路が必要と思われる。
「広域的見地からして、町は賛成すべき」や「反対派エゴ」という言葉を聞くことがあるが、“周りが要望しているから”、“迷惑をかけないように”という考え方は主体性が無く、おかしい大町-松本間には生活道路が充分にあり、さらに整備していけば、既存の道で充分「交流」に対応し得る。
主要観光地だけにメリットがあるようだが、中間点は？

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 13日(土)	19時00～21時00
市町村名	穂高町	グループ名 3
メンバー	(: 司会、 : 記録者)	

今後の観光は、「ゆとりのある観光」(移動間も楽しむ)であろう。観光地だけを急いで回る従来のような形ではない。穂高町内や、アルプスあづみの公園にも、自転車を活用できるよう、自転車道などを整備すれば、地元にお金が落ちるだろう。渋滞の緩和という問題については、「重柳」等は、立体交差にする。インターは、ゲートを増やす。

都市の入り口の渋滞は、他の公共交通機関の利用を勧めるのが良いと思う。

- (M) 建設は反対。理由は、他の反対の方と重複する部分が多いので違うところだけ言いたい。穂高町は、水が美しいためにわさびが作られ、おいしい米ができ、それが、美しい田園風景を生んでいる、とても、水の恩恵を受けている町。その豊かな伏流水を止めてしまっているのか。

私は、実際に阪神大震災を経験したが、大きな道路が非常時には使えなくなることは明白。

- (N) 賛成・反対の比率は、このグループだけに特異なものではない。市民タイムスの投書でも圧倒的に反対が多い。

県は、生活者の意見を重視するべき。

広域的道路のネットワークのあり方を考えていく方向はどうか。

- (A) 大北地域の方等、穂高町以外の方とも意見を交わしたい。

道路ができて、時間が短縮されるのは良いが、その代価が大きすぎるのでは？

- (N) あづみの山麓を通すルートを設定すると、どうしても感情的になる。そこを通してまで作る必要があるか。

その他のルートを考えたいが、賛成派の方は、どのようにお考えか。

- (D) 生活し易さから考えて、国道147の範疇で作ってほしい。ルートに対する明確なビジョンは今は無い。

- (A) 次回の会合は、11月1日役場大会議室(2F)で行う。

- (I) 町の議員の方に建設賛成の理由を説明してもらいたい。

町 町長は出る意向。議員は、全員個人としてなら出る。

皆 町長に出てもらいたい。町長が出られない場合は、助役など、それに変わることでできる人で構わない。

県 県のHPでの公表は良いか。

皆 良い。

- (I) 小谷村近辺のフォッサマグナ、地滑り地帯などの総合的な地質調査資料を見せてほしい。